

## Chapter 1 国公立大学への現役合格を徹底サポートする『一貫特進』を新設

2012年度から新たなコース制をスタートさせた同校。中学では、国公立大学への現役合格を目指す『一貫特進』と、学力と希望に応じたクラス分けを行う『特進』の2コースが設置されています。



期待値MAX!  
注目校 NOW!

同校のさらなる飛躍を担うカギともいえるのが、新設された『一貫特進』。6年間で定員30名の同一クラスで過ごし、国公立大学現役合格を目的とした独自カリキュラムで学ぶ少数精鋭コースです。全員が国公立大学を目指す環境のもと、6年間を通して学習面における目標をより明確に設定できるため、効率よく、かつ着実に学力を高める学習指導が可能となります。

具体的には、中2で中学教育課程を修了し、中3から高2までの3年間をかけて高校教育課程にじっくりと取り組んだ後、高3から受験対策に入ります。時間数が増え、英語と数学の授業を増設。この2教科については、前週の授業内容の復習を目的とした朝テスト、その結果を踏まえて取り組む全員参加の放課後補習を週2回ずつ実施し、基礎の定着を徹底します。さらに春・夏の長期休暇中にはそれぞれ1週間の特別授業を、夏休みには3泊4日の勉強合宿を行い、5教科に絞り込んで学習指導を強化。多彩な取り組みを通じて、詰め込み式の授業ではない、同校ならではの、ゆるやかで、ていねいな先取り学習を確立し、一人ひとりを志望校合格へと導きます。

からの入学生と合流し、国公立および私立理系の受験に対応した『選抜理系』、国公立文系を目指す『選抜文系』、私立大学受験を見据えた『特進』、2013年度に新設される『芸術系進学クラス』の4コース編成となります。さらに高3には、指定校推薦が受けられる『私立特進』も設置。より細分化することで、目標に応じたカリキュラムの強化が実現しました。増えた授業時間

## 国公立大学現役合格を目指す『一貫特進』が始動！ 6年後を見すえたカリキュラムと きめ細かい指導で進路実現へと導く

は英語と数学の補習に充て、自学自習を実施。習熟度が低い生徒は基礎の定着に、成績上位者は発展学習に取り組みます。

このように『一貫特進』『特進』とも、目標に応じた大学受験対策を重視しており、個々の生徒を大事に育てる。という同校の教育方針をより明確に体现したものとなっているのです。

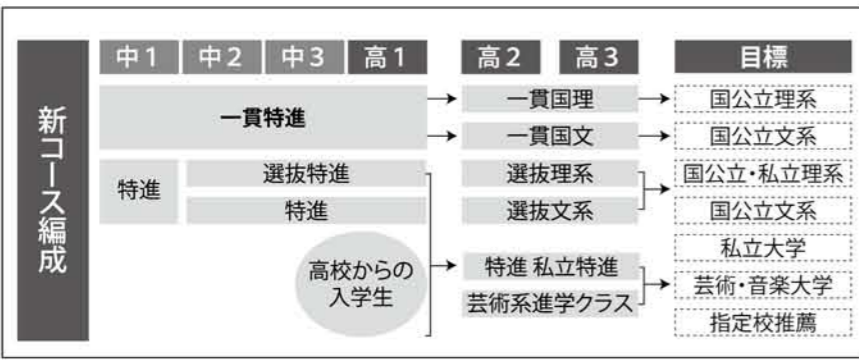
『一貫特進』は、本校の特色であるきめ細かい指導はそのままに、進路実現のためのサポートを強化したいという思いから生まれたコースです。その思いを実践することが、個性と能力を最大限に発揮して社会で活躍し、自分らしく豊かな人生を歩める女性を育てることにつながると思っています。

『一貫特進』担任の長光明子先生。さらに今後のビジョンについて、こう語ります。

「記録することを通じて、自分なりに学習への取り組み方を考えられるようになってきました。特に英語に対しては意識が高く、家庭学習の時間も長くなってきています」

と、『一貫特進』担任の長光明子先生。さらに今後のビジョンについて、こう語ります。

「学校生活や学ぶことの楽しさと、目標を達成する厳しさの両方をバランスよく味わえるよう、進路に対する意識づけとともに、勉強が好きになれるような授業を実践していきたいと考えています」



## Chapter 2 学習と生活の記録を通じて家庭学習の習慣づけを促す

「中学3年間で一番大切なのは、基礎を確実に身につけること、家庭学習の習慣をつけることです。両コースにいえることですが、特に『一貫特進』では、この両輪で学習を進めることを重視しています」と藤本先生は言います。家庭学習の習慣づけを促す上で不可欠な存在となっているのが、全生徒に配布される冊子『学習と生活の記録』です。

これは各自が毎日、授業や家庭学習の内容を記録するためのもので、家庭学習がどの程度できているかを確認する目的で導入されています。コース改編を機に、帰宅時間や就寝時間のほか、予習や復習、宿題

この冊子は、各自が毎日、授業や家庭学習の内容を記録するためのもので、家庭学習がどの程度できているかを確認する目的で導入されています。コース改編を機に、帰宅時間や就寝時間のほか、予習や復習、宿題

この冊子は、各自が毎日、授業や家庭学習の内容を記録するためのもので、家庭学習がどの程度できているかを確認する目的で導入されています。コース改編を機に、帰宅時間や就寝時間のほか、予習や復習、宿題

### POINT

#### 学力アップの原動力となる仲間づくりも重視

「みんなで助け合う」「一人ひとりに思いやりを持つ」「ずーっと仲良く!」。これらは、『一貫特進』の教室の壁に貼られた生徒たちの目標です。心温まる言葉が並んでいるのは、「仲間づくり」に主眼を置いて入学後すぐに実施された『オリエンテーション合宿』の賜物といえます。

「学校が楽しい場であってほしいとの思いから、4月は『仲間づくり』をクラス目標に掲げて過ごしました。助け合い、学び合いながら、それぞれの目標に向かっていくプロセスにおいて、支え合う仲間になってくれればと願っています」(長光先生)